

## 各教科等における実践【中学校】「基礎的・汎用的能力」と各教科との関連

※次の関連事項は、あくまでも例示であり、各教科と能力との関係を限定するものではない。

各教科等	関連事項(例)
国語	言語活動として発表・討論・解説・鑑賞などを通して、社会生活に必要とされるコミュニケーション能力の基盤を培うことができる。 <b>かかわる力</b>
社会	○労働や雇用などの学習を通して、労働者を取りまく問題を理解し、労働条件の改善など解決に向けた自分の考えをまとめることで、課題に対応する力を高めることができる。 <b>みとおす力</b> ○社会において働くことは、職業は個人の個性を活かすとともに、個人と社会を結び付け、社会的分業の一部を担うことによって社会に貢献し、社会生活を支えるという意義があることを理解できる。 <b>かかわる力</b>
数学	見通しをもって論理的に考察する力を培うことで、筋道を立てて考える力を高めることができる。 <b>やりぬく力</b>
理科	探究的な活動を通して、自然の事物・事象の規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得することで、課題を発見・解決する力を高めることができる。 <b>やりぬく力</b>
音楽	音楽に対するイメージ、思い、意図を相互に伝え合う等の「表現」や「鑑賞」等の活動を取り入れることで、コミュニケーション能力を高めることができる。 <b>かかわる力</b>
美術	自分自身の気持ちや心の中を見つめるために、自画像の制作を行うことで、より深く自己を理解し、自分の感情やものの考え方、価値観に改めて気付くことができる。 <b>ふり返る力</b>
保健体育	保健の学習において、欲求やストレスについて学習することで、自分に合った対処法を身に付けることの大切さを理解し、自己管理能力を高めることができる。 <b>ふり返る力</b>
技術・家庭	実践的・体験的な学習活動や学習内容に関連した職業についての理解を深めることで、勤労観・職業観を育成することができる。 <b>みとおす力</b>
外国語	これからの国際社会に生きる日本人として、世界の人々とコミュニケーションを通して協調し国際交流などを積極的に行っている資質・能力を養うことができる。 <b>かかわる力</b>

## 各教科等における実践【高等学校】「基礎的・汎用的能力」と各教科との関連

※次の関連事項は、あくまでも例示であり、各教科と能力との関係を限定するものではない。

各教科等	関連事項(例)
国語	様々な言語活動を通して、論理的思考力・相互に交流する力・情報の適切な判断力といった言語能力を育成することができる。 <b>かかわる力</b>
地理歴史	地理事象の変容を捉え、地域の課題や将来像について考えたり、また、歴史上の人物の生き方や時代背景などを踏まえて考察し、自己の生き方や役割、将来設計を考えることができる。 <b>みとおす力</b>
公民	社会において働くことは、職業は個人の個性を活かすとともに、個人と社会を結び付け、社会的分業の一部を担うことによって社会に貢献し、社会生活を支えるという意義があることを理解できる。 <b>かかわる力</b>
数学	見通しをもって論理的に考察する力を培うことで、筋道を立てて考える力を高めることができる。 <b>やりぬく力</b>
理科	探究的な活動を通して、自然の事物・事象の規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得することで、課題を発見・解決する力を高めることができる。 <b>やりぬく力</b>
保健体育	球技の場面で、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 <b>やりぬく力</b>
芸術	作品を鑑賞する場面で、作者の意図や表現方法の工夫等を発表し合うことで、自己や他者の作品及び作者の創造性を尊重する態度を養うことができる。 <b>かかわる力</b>
外国語	これからの国際社会に生きる日本人として、世界の人々とコミュニケーションを通して協調し国際交流などを積極的に行っている資質・能力を養うことができる。 <b>かかわる力</b>
家庭	実践的・体験的な学習活動や学習内容に関連した職業についての理解を深めることで、勤労観・職業観を育成することができる。 <b>みとおす力</b>
情報	情報機器や情報通信ネットワークなどを活用し、適切な情報の収集と選択、問題を解決する方法を習得し、課題を解決することができる。 <b>やりぬく力</b>